

野球 2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

3位決定戦 彦根東 8-7 綾羽

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	R
綾羽	0	0	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
彦根東	0	0	3	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	8

接戦を制し勝ち取った3位



▲大きな声で声援を送るスタンドの野球部員



▲山岡君は7回裏に生還を決めた

5月6日に皇子山球場で2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の3位決定戦が行われた。本校は綾羽高校と対戦し7-8で勝利した。

大津市の皇子山球場では3位決定戦が行われた。対戦相手は強打を誇る綾羽高校である。試合が動いたのは三回表の相手の攻撃、満塁からの2連打や犠打により5点と先取を許す。しかしその裏には本校も敵失から、2番の加藤陽也君(3-5)、3番の森野隼人君(3-2)、4番の井上人太君(3-8)、5番の川嶋清太君(3-5)の4連打で3点を返した。4回裏には8番の森岡優仁君(2-3)、1番の中島大智君(2-8)のヒットをきっかけに一点を返すなど差を縮めた。7回裏の本校の攻撃、7番の山岡右京君(3-4)の適時三塁打から森岡君の犠打により一点を返す。7-6で迎えた九回裏、緊迫の場面で森野君がタイムリーヒットを放ち同点に追いつく。その後延長戦に突入するも十二回までに決着がつかず、タイブレークとなった。十三回裏、9番の中谷凌君(3-5)のヒットで満塁、中島君がフォアボールを選んでサヨナラ勝利を得た。21残留という課題はあったものの接戦を勝ち抜き、本校は県3位の好成績を収めた。7回裏に適時三塁打を決め

た山岡君は今日の試合を「一心一体でプレーできたと思う。ヒットは出たが肝心の勝負どころで決められなかった」と振り返った。9回に同点を決める適時打を放った森野君はそのときの心境を「逆転できると信じ思いつきり打った」と明かした。主将の川嶋君は次の夏の大会に向けて「一つひとつやるべきことをやって勝てるように頑張りたい」と意気込んだ。顧問の村中隆之先生は今日の試合を「前半は点を取られしたがすぐに取り返すことができた。だから後半に競り合いになるのはなんとなく予想していた。最後まで試合に食らいついていけたのは良かったと思う」と分析され、本校野球部にとって初の公式戦でのタイブレークだったことについて「本当はタイブレークになるまでに試合を決めなければならなかった。しかし夏に向けての経験になったのでよかったと思う」と話された。

お詫びと訂正

彦根東高校速報新聞キマグレ第1981号において本校野球部員の名前表記に誤字がありました。正しくは根元龍馬君(3-2)です。お詫びして訂正します。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号